



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

95.3.14 No. 4158

「阪神大震災」を理由とした95春を 貨物「ベアゼロ」攻撃を許さぬ斬る②

事実上「消滅」した九五春闘!

大失業時代の到来という情勢のなかで、今春闘の最大の特徴は、一月一七日に発生した、「阪神大震災」によって、連合加盟の中央単産先頭にストライキ権の確立すら行なえずに、春闘が事実上「消滅」してしまっているところにある。

日経連が今春闘に対して、「賃上げゼロ」攻撃をはやくから打ち出しているなかで、連合はそれまでの鉄鋼など金属関係の単産の先行から、N.T.T・私鉄・電力の三単産を前面に押し立てて、相場形成を狙おうとしてきた。ところが「大震災」によって、私鉄では「阪急」、「阪神」が集団交渉から離れ、N.T.Tは三月三日に定昇込み二・八%で早々と妥結するに到った。

分断・撃破された連合春闘!

このようにして、今春闘で中軸となるはずであった、「公益事業三単産」の足並みがそろわず、連合春闘はヤマ場もなしに個別に分断、各個撃破されようとしている。

これは、JRの中にも表れている。この「大震災」の影響をほとんど受けていない、東日本と北海道と他の五社との間で、収益に相当の格差が発生している。とりわけ九州と貨物は、今年度大幅な赤字決算が見込まれる状況におちいつている。

とりわけ貨物はこれまでも災害のたびに、経営を左右するような事態に追い込まれ、それが昇給や手当のたびに、他の旅客

会社との間に格差を生ずる理由のひとつとされてきた。

労働者に犠牲を転嫁する

「中長期計画」の一層の徹底!

パブル経済の崩壊以降、昨年度決算ではついに「赤字」に転落した貨物は、今年度に入り、「中長期計画」という形で、早期退職という名の、首切り攻撃を打ち出すに到った。その矢先に「大震災」の直撃を受け、二年続きの「赤字決算」は確実となった。

貨物会社が明らかにしたところによると、「日額二億円」の減収、「総額で一五〇億の減収」になるという。しかも、現在東海道線の不通区間の代行輸送を行なっている船やトラックの費用(これも貨物もち)は、いくらなるかわからないという。貨物会社はすでに、この減収に対して、資産の売却やこれま

での利益の積み立てを充当するという方向を考えている様だが、とてもこれで「赤字」を減らせるものでもない。結局より一層労働者に犠牲を転嫁してのりきろうとすることは明らかだ。動労総連合の申し入れに対して、会社は「中長期計画」のより一層の徹底と答えていることから、これははっきりしている。

大失業時代を闘う労働運動を!

貨物超低額・格差回答を許さぬ

今春闘での、貨物「ベア・ゼロ」攻撃を許さず、大失業時代を闘う労働運動という視点にたつて、貨物の超低額・格差回答を許さず闘いぬこう!

動労総連合「阪神大震災」で申し入れ

動労総連合は、貨物協議会で検討した内容をもとに、総連合申第三号で、JR貨物に対し、「阪神大震災」に関する申し入れを行なった。

二月二七日に、本社にて団体交渉が、動労西日本からも代表が参加して、行なわれた。

中江選挙統一行動を貫徹しよう

◆第三次統一行動

三月一八日(土)〜二二日(水)

*①集合時間は、一〇時または一三時を基本とするが、勤務の関係も含めて随時可能。②日勤職場については、一八時を目途に集合すること。

◆中江昌夫を擁護します

三月一九日(日) 一四時から
船橋・三田浜楽園(船橋市役所近く)